

一般質問

7名の議員が登壇しました。

議席5番 橋本 正裕議員

○圏央道周辺開発整備について

・インターチェンジ周辺まちづくり基本調査が7月には報告されるというが、中間報告もあわせて実施しては

・町長の施政方針の中に企業誘致促進対策とあったが、具体策はインターチェンジが出来る、周辺道路の交通量が増加すると考えています、歩道のない、交通量の多い町道などは歩道設置など整備すべきと考えますが、町はどう考えているのか

・長田小学校の耐震調査が実施され、基本設計が本年度計画されているが、インターチェンジ周辺の通学など安全を考慮し、別の場所に移転・新築される考えは企業からの問い合わせ等はあるのか

・税金・雇用など、圏央道効果の見込みおよび目標を町として計画するべきでは

○ガソリン揮発油税の暫定税率について

・暫定税率が廃止された場合、茨城県では予算三百七十八億円、四十四市町村合計では百十一億円、の減収と試算されているが、

境町における影響は

○滞納など税の徴収強化について

・町税の滞納処分のために財産を差し押さえ、インターネットオークションなどを利用して公売しては

議席1番 齊藤 哲生議員

○町の目指す行政運営や住民生活の現実に向けての施策が示された「境町総合計画」への今後の取り組みについて

・生活を守る体制づくりとしての自然災害に対する「危機管理体制」の現状、並びに今後の課題について

・住民とともに進める身近なまちづくり事業のひとつとしての、公募による道路の名称付けの実現について

○個性を活かしたまちづくりの現実について

・町、並びに地域特産品PRに向けての地域ブランド・マスコットキャラクターの確立、活用について

議席10番 齊藤 政一議員

○公共交通について

・本町における通勤通学者、高齢者、障害者等の交通体系の整備について

・広域の地域公共交通活性化・再生総合事業の検討について

○JT跡地の問題について

・境町区長会・境町商工会の要望

書は提案書の中で尊重されているのか

・日本たばこ産業跡地利用検討委員会の答申書は、提案書の中で尊重されているのか

・提案書の中で用途指定はどう制約していたのか

・審査会ヒヤリングの中で、ウエルシア関東(株)カスミ2社に絞った理由、外2社を不採用にした理由

・提案書の中で地域事業者との競合性を鑑み、テナントの出店業種をどのように確認していたか

議席3番 須藤 信吉議員

○染谷川改修事業について

・改修工事の進捗状況

・染谷川周辺の冠水対策（周辺開発行為等による）

○プラスチックポンについて

・第1回目(平成18年12月から平成19年3月)の結果について、当初目標とされていましたが、町内商業の活性化及び経済効果について、又、2回目(平成19年11月から平成20年3月)が実施されていますが、その状況について

○今後の公共下水道計画について

・長田地区(西泉田・上小橋)の見通しについて

議席9番 秋元 守議員

○メタボリック・シンドローム健診指導制度について

・特定健診・特定保健指導制度開始による町の対応について

・受診率・保健指導率が低い場合町に与える財政的影響について

・特定健診・特定保健指導制度の目的は、中・長期的な国の医療費適正化計画の中の医療費の抑

政策と思われるが、町としては、どのように捉えているのか

・メタボリック・シンドローム健診のペナルティーとして後期高齢者医療制度支援金の負担増を科すと言われているが、その具体的な対応について

○後期高齢者医療制度について

・後期高齢者医療制度は後期高齢者だけを対象にした独立保険、そのしくみと後期高齢者医療制度等の健康保険の今後の展望について

・後期高齢者医療制度は、現在団塊の世代で、悪魔の選択とも言われているが、この制度の行方と、町の対応・対策について

・最近、ニュースや新聞などで後期高齢者医療制度の加入者負担増の凍結等が話題になっていますが、茨城県後期高齢者医療広域連合議会では、具体的な改正や凍結は検討されているのか

・保険料滞納者については、資格証明書を発行し、また、弱者や滞納者の医療費を全額自己負担にすることもこの申請度の特徴と言われているが、茨城県後期